

川尻・矢田部地区自然再生地

川尻・矢田部地区は利根川河口堰下流に形成される利根川最大のヨシ原、干潟により特徴づけられる。これら機能を保全・再生することで、汽水域の自然の拠点として維持させる。



2019年4月撮影 (自然再生事業着手前)

川尻・矢田部地区自然再生地（令和2～4年度施工）

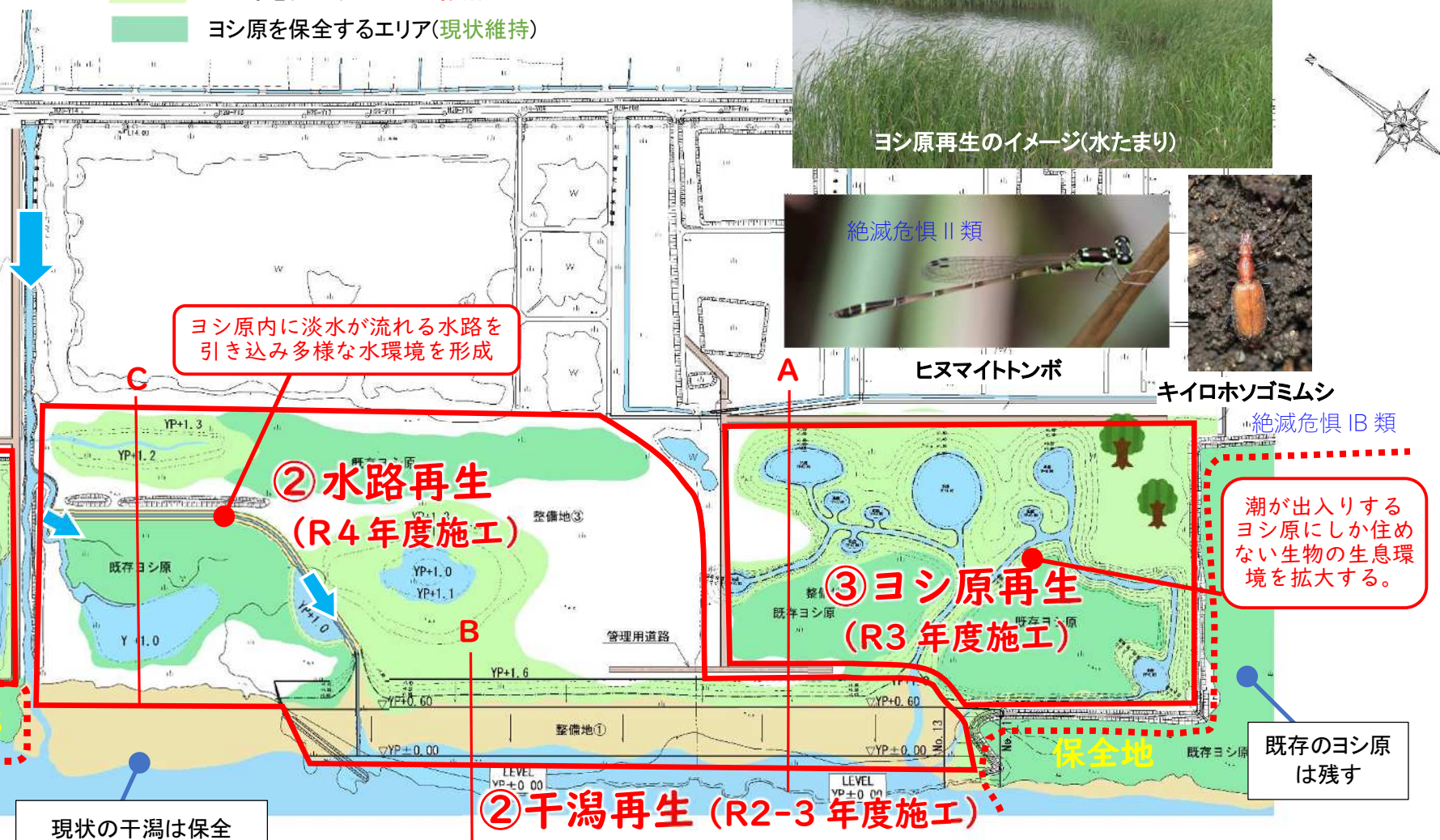
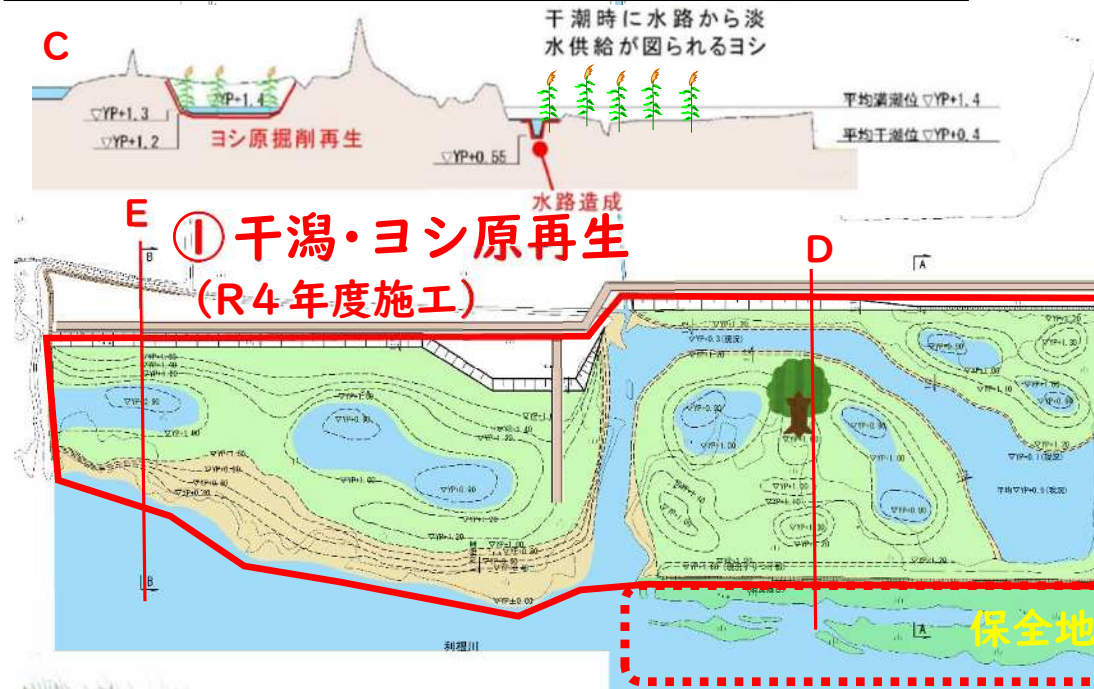
- 干潟を再生するエリア(掘削)
- ヨシ原を再生するエリア(掘削)
- ヨシ原を保全するエリア(現状維持)

干潟と連続する汽水域のヨシ原を再生するほか、堤内地の淡水をヨシ原内に引き込み多様な湿地環境を再生する。

ヨシ原指標種：ヒヌマイトトンボ、キイロホソゴミムシ

水際指標種：カニ類、シオクグ、オオクグ

干潟指標種：エドハゼ、ゴカイ類、貝類、シギ・チドリ類



絶滅危惧IB類

潮が出入りするヨシ原にしか住めない生物の生息環境を拡大する。



川尻・矢田部地区自然再生地（完成）

2023年10月撮影

2023年6月撮影（大潮干潮時）



地元波崎二中が観察会に活用



③ヨシ原再生 R4.3 完成

干満で水が出入りする(汽水)

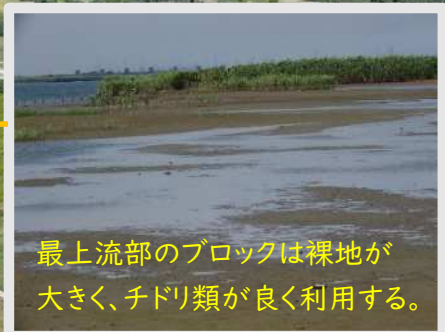
ワンド状の湿地には
コウノトリ(最大 5 羽)、シラサギ類、カルガモ、
シギ・チドリ類、ツバメが入れ替わりながら利用



2023年10月撮影



①千潟・ヨシ原再生



最上流部のブロックは裸地が
大きく、チドリ類が良く利用する。



②水路再生
R5.3 完成

②千潟再生
R4.3 完成



アシハラガニ

千潟の水際部ではサギ類、コウノトリが採食の場として利用している。



ヤマトシジミ



ヤマトカワゴカイ

2023年6月撮影（大潮干潮時）



ヒメマイトトンボ



ミズゴマツボ